

# 参考資料1 地域公共交通計画(素案)のパブリックコメントの結果

※ 市民等からの意見内容については、実際にいただいたご意見をそのまま表記しております。

No.	住所	市民等からの意見内容	本市交通会議の意見
1	美山台	高齢者にとって一番うれしいバスのサービスは、商業施設(特に大型ショッピングセンター)に停留所があることです。多少ぐるぐる回ってもそういう場所に留まってもらえれば、レインボーバスをもっと利用したいと思います。よろしくご検討をお願いします。	・レインボーバスについては、交通会議の分科会として、「レインボーバスのあり方検討分科会」を開催し、レインボーバスの今後の方向性を検討しました。「基本的な方針Ⅳ-C 路線バスの輻輳の解消を目的としたレインボーバスの見直し」にあるように、路線バスとの輻輳区間を解消することを主な目的としつつ、周辺の商業施設等との連携も含め、今後も公共交通事業者と協議し、引き続き検討していきます。
2	東板持町二丁目	富田林に長く住んでいますが、交通手段についてここ最近は本当に困っており、この計画についての情報を知った時に是非一個人としての思いを聞いてもらいたいと思わせてもらいます。 バス停からは徒歩10分、どのルートを通っても急勾配の坂を降りて行かなければならない道のりで、高齢者にはとても大変な道のりだと思います。冬は坂が凍結していないか確認しながら、坂を下りバス停まで歩いていきます。車は所有していません。自宅周辺は空き家がどんどん増え、過疎化しており、住人の数から考えても新たにバス停を設置するなど需要的に無理だと簡単に思い付きますが、移動手段が不便な場所では更に過疎化して当たり前かと思えます。 金剛バスは運転手の人手が不足減便して、今月更に減便しバス本数が本当に少なく通勤に支障があり困っています。金剛バスの運転手は休みも無く働いていると聞きましたが、運転手の募集をしても増えない、このまま更に減便するかもと聞きました。昔から運転手の拘束時間が相当長く、過去には過労死した社員もいると聞き、とても過酷な労働状況だと聞きました。そんな所謂ブラック企業では、相当改善しない限り、当たり前ですが人は集まらないと思います。 近鉄、南海のバスがこちら側には走っておらず金剛バスのみなので、バス停が遠くても金剛バスに頼らなくてはならない生活です。バスの最終も早くなり、帰りが少しでも遅いとタクシーを使って帰るしかありません。バスは1時間に2本で、真冬にベンチで長時間待つにはかなり負担で、タクシーを使っている日々です。そのタクシーも運転手が減り、駅に待機しているタクシーも減り、1時間待ったことも最近あります。バスもない、タクシーも少ない、駅から家に帰るまでどれだけ時間がかかるのかと、かなり負担になっており、引越を検討するべきかと悩んでいます。長く書きましたが、東板持町は道も狭く、金剛バスのあの大きさではこれ以上バス停は増やせないとは分かりますが、金剛自動車の会社自体の改善が必要だと思うのと、金剛バス以外での小さな車で周回するような車、無人になってしまうような予約制など、タクシーよりも格安で利用出来るような移動手段を少しでも考えて欲しいと、本当に毎日思っています。タクシー代に相当お金をかけています。東板持町よりも甘南備方面などは更に困難な地域かと想像しますが、本当に住んでいる人達のこと、これからの過疎化を減らす上で、公共交通のこの計画にかかっていると思えますので、どうか宜しくお願いします。抽象的的確な意見を書けず申し訳ありません。	・金剛バスについては、運行している金剛自動車様と今後も密接に連携をとりながら、利用者の不便とならないよう、最大限に支援、協力していく予定です。 ・また、路線バス等ではカバーしきれない地域において、「基本的な方針Ⅱ 地域特性に応じた多様な地域公共交通サービスの導入」にあるように、地域住民が主体となり、行政や交通事業者と協力しながら、新たな交通手段を導入するための取組への支援・協力を実施していきます。
3	山手町	計画に書かれている「農業エリアで需要が少ない不便地域」「起伏の多い交通サービスにアクセスしづらい地域」で、住人が減っている地域に住んでいます。今は病院などの施設送迎バスや民間企業の販売者に頼っており、緊急時にはタクシーや知人に依頼するしか無い地域です。タクシーは経済的に何度も利用する事は難しいので、知人に頼めないときは我慢するか、緊急時には救急車に依頼する事になります。私は、帰宅時の坂道を考えると路線バスを利用するのは二の足を踏んでしまい、車に頼る生活をしています。そう遠くない時期に免許を返納したいと思いますが、代わりの足が無いので、今は返納出来ずにいます。同じように危険を感じながら、車を使っている市民は多いと思います。「あつて良かった。利用しよう。」と思える公共交通があれば、文化活動も盛んになり生き生きと生活が出来、引きこもりによる認知症の心配も減り、医療費の削減になると思います。 今のままでは公共交通を使いにくい高齢者や障がい者、子育て中の市民の要望を計画に盛り込んで欲しいと思います。高齢者の外出支援と位置付けて貰って、買い物や公民館サークル活動の拠点をまわるコース、観光コース等、交通事業者と連携してコース検討を望みます。 朝の通勤、通学の時間帯とその後屋間の外出支援の時間帯でコースを変える事を検討できませんか。例えば、平日屋間のサバーファームにはルートがありません。 犯罪から子供を守る為に通学に公共交通をスクールバスとして使う事は認められていると聞きます。そんなことも検討して、公共交通を有効活用するなどどうでしょうか。 路線(金剛)バスでICカードが使えて、他の事業者やできれば病院通院バスと乗り継ぎが出来ると子どもにも持たせて利用できます。中高生は一人で通院できます。 バス停から坂道が多く、現在は病院通院バスのバス停は坂道途中にもあり、有難いです。それでも上り坂は苦勞で今後タクシーに頼る事が多くなります。障がい者、高齢者にタクシー代補助の検討をお願いします。大型バスで入れない狭い道にタクシー路線コースがあって、坂道の苦難から解放されたらどんなに暮らしやすいかと思う事があります。	・路線バスについては、交通事業者との協力の下、利用者のニーズに応じた運行体制を検討し、継続的更新、変更していきます。 ・また、路線バス等ではカバーしきれない地域において、「基本的な方針Ⅱ 地域特性に応じた多様な地域公共交通サービスの導入」にあるように、地域特性に応じた、公共交通サービスや施策の導入に取り組みます。 ・「施策Ⅱ-B 高齢者等の移動支援の推進」のとおり、免許返納に伴う様々な生活課題に対応できるよう、各地域の実情にあわせて、誰もが安心・安全・快適に生活できるような交通環境づくりを推進していきます。また、高齢者や障がい者等への移動支援の実施の検討を行い、今後、移動支援の対象者や条件等の具体化を図っていきます。

No.	住所	市民等からの意見内容	本市交通会議の意見
4	大字甘南備	<p>地域公共交通の大事さ、役割など詳しく書かれています。その一方、公共交通がないところ、利用しにくい所など、市内には「不便地」と言われる箇所があります。</p> <p>計画では8か所を5か所にするという事が書かれています。高齢化がますます進むと、更に不便地の数は増えていくかもしれません。今までに取り組んだ(予定)、不動ヶ丘、彼方上地区、藤沢台などの状況の記述が少ないと思われます。</p> <p>市主導ではなく、住民主導で取り組むなら、他の地域が参考になるように詳しく問題点や課題などが必要だと思います。</p> <p>そんなところにこそ、市の巡回バスが必要でないでしょうか。今後、引き続き取り組んでいただくようお願いします。</p>	<p>・「基本的な方針Ⅱ 地域特性に応じた多様な地域公共交通サービスの導入」にあるように、地域住民が公共交通サービスの導入に取り組めるよう、「(仮称)地域公共交通導入マニュアル(ガイドライン)」を作成します。</p>
5	大字伏見堂	<p>上セブン号のタクシーは大変良かったです。利用する方も多くはないかと思いますが利用した私にとって大変助かりました。ぜひ継続をお願いします。</p>	<p>・「上セブン号」については、本格運行が実現できるよう、今後も引き続き、地域の皆様や交通事業者と協力しながら、運行経費のさらなる削減や、より多くの方にご利用いただく方法などを検討していきます。</p>
6	甲田三丁目	<p>ふだん病院に行く時は電車、バスを利用しています。先日、タクシーで行く事になりました。今は大丈夫ですが、これから先、タクシーでしか行けなくなった時、負担が大きいなあと思いました。</p> <p>現在もタクシーを利用されている高齢者は多数おられると思います。いくらかでも、高齢者に割引をして頂けたらありがたいです。</p>	<p>・「施策Ⅱ-B 高齢者等の移動支援の推進」のとおり、免許返納に伴う様々な生活課題に対応できるよう、各地域の実情にあわせて、誰もが安心・安全・快適に生活できるような交通環境づくりを推進していきます。また、高齢者や障がい者等への移動支援の実施の検討を行い、今後、移動支援の対象者や条件等の具体化を図っていきます。</p>
7	藤沢台七丁目	<p>私は、地域公共交通計画パブリックコメントとして下記の通り要望します。 (これまでの経緯)</p> <p>私達の住んでいます藤沢台七丁目地域は、市が指定しています交通不便地域(バス停から300m以上)7カ所の1つに数えられています。</p> <p>富田林市では、望ましい公共交通のあり方を考えていく取り組みが進められており、町内会を通して「地域の公共交通を考えるワークショップ」が開催されてきました。</p> <p>市内で初めての勉強会を道路交通課の指導で開催されるとともにアンケート調査の実施・第一交通さんのご協力により乗り合いタクシー実証運行、バス停位置、運行経路、時刻表の確定など本格運行のため諸々の展開を行ってきましたが、残念ながら新型コロナウイルス症の発生により、その後の実施計画は停滞、現在休止状態となっている事をご承知の通りであります。</p> <p>しかしながら、どういうわけか、市は先行地区の実行者に何の相談も無く彼方上地区の試験導入が実施されました。</p> <p>交通会議の傍聴で「なぜ、先行実施してきた藤沢台七丁目地区を無視して後発の彼方上地区の実証運行が進められてきたのか」疑問を提起しましたが問題の解決には至っていません。</p> <p>(今後の問題点と要望)</p> <p>◎彼方上地区の実証運行の結果を詳しく調査し発表すること。 1.上セブン号の乗車人数合計人数ではなく各時刻表時間帯の乗車人数の結果発表 2.実証運行の収支決算表の発表 3.今後の予定</p> <p>◎藤沢台七丁目の取扱い 1.4月より再開予定の市の支援・見解について どの様な支援を考えているのですか。 2.交通会議委員への参加について 運行を計画している地区の代表者を参加させること。 3.レインボーバスの運行経路の見直しについて レインボーバスを小型化し運行経路の増設を図ること。</p>	<p>・交通不便地域における地域公共交通サービスの導入について、本市としては、地域で優先順位を設けず、各地域の実情、かつ、取り組み状況に応じ、協働して取り組むものと考えております。すでに取り組まれている交通不便地域における地域公共交通サービスの今後についても同様です。</p> <p>・彼方上地区の実証運行結果につきましては、交通会議において報告するとともに、今後の予定についても議論してまいります。</p> <p>・レインボーバスの見直しについては、「基本的な方針Ⅳ-C 路線バスの輻輳の解消を目的としたレインボーバスの見直し」にあるように、地域の実情、ニーズに応じた運行体制を考慮し、ルートや運賃を見直すための具体的な方策を、交通会議において引き続き検討してまいります。</p>

No.	住所	市民等からの意見内容	本市交通会議の意見
8	桜ヶ丘町	富田林市支援 → 今後は主体となって、市民・地域とともに地域公共交通の導入の本格運行を目指して頂けると幸いです。金剛地区は「主体」となっていたので違いに少々さみしい気持ちになりました。試験運行ありがとうございます。彼方上地区の方々は今は元気で過ごしておられますので、現実問題に思えていない人たちも多く、気付きや公共交通利用への意識の働きかけはとても難しいことと思います。楽しいこと、移動したいと思うことの活性化を彼方上地区内で起こせていけるといいと考えます。今後とも、富田林市彼方上地区をどうぞよろしくお願い致します。	・交通不便地域において、公共交通サービスを導入するためには、地域が主体となり検討を進めることで、その地域のニーズに合った最適な地域交通システムの導入につながるものであることから、市はそのような地域が主体となった取組を“支援”することとしております。本市では、各地域がそれぞれのニーズに合ったサービスを導入できるよう、様々な支援策を検討してまいります。
9	寿町三丁目	外環沿いの坂道の上った所に住んでいます。若い時代に引っ越して来て、坂道もいとわなかったのですが、頑張って外環まで歩くので、バス停を下に設置してもらえれば出掛け易いかなあ。今は、電動自転車等で移動していますが、もう少し高齢になったら、本当は自宅前での乗降が一番ありがたいのですが。いくつになっても自分で品物を見て買い物をしたいし、生協で完結したくないのです。勿論、健康寿命を維持すべく努力っぼいことはしているのですが。	・「施策Ⅱ-B 高齢者等の移動支援の推進」のとおり、各地域の実情にあわせて、誰もが安心・安全・快適に生活できるような交通環境づくりを推進してまいります。
10	別井五丁目	資料編1.5. 路線バスの利用 金剛バスが走っている地域です。今でも通勤通学に使ってる人もたくさんいます。買い物や通院にも少数ですが利用しています。今後も便数を減らさずに走らせてほしいです。特に金剛バスは雪が積もっても走ってくれるのでありがたいです。 本編4. 地域公共交通計画で目指すべき姿 「すべての市民が安心して快適に移動できるまち」とあります。一人ひとり要望が違うので難しい問題ですが、そのように取り組んでほしいと思います。駅が近くてもスーパーが遠い、病院が遠いなどありますが、だれもが快適に移動できたらすばらしいと思います。	・金剛バスについては、運行している金剛自動車様と今後も密接に連携をとりながら、利用者の不便とならないよう、最大限に支援、協力していく予定です。 ・また、交通会議では、市内の各バス事業者や障がい者や子育て世代など、様々な立場の市民も参画しております。当会議において、引き続きこれらの関係者と協議しながら、利便性向上の施策を検討してまいります。
11	市外	富田林市でも外国人市民の人口が増えている中で、外国人市民向けに、多言語や、やさしい日本語での乗り方教室等があれば、移動や選択の自由の幅が広がりますし、地域公共交通の活性化にもつながるのではないかと思います。交通事業者におかれましても、数は多くないかもしれませんが、日本語が母語ではない方や、文字が読めない方なども、地域公共交通を利用しているということを意識・配慮していただけるとありがたいと思います。	「基本的な方針Ⅳ 地域住民・交通事業者・行政が一体となった地域公共交通サービスの維持」にあるように、近年の外国人市民の増加、コロナ後のインバウンドの回復も見据え、多言語に対応したデジタルサイネージの導入や、停留所等でのバリアフリー化の推進に向けて、公共交通事業者と協働して協議してまいります。